



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2018
平成30年
2-20
No.546

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



志賀高原
地獄谷野猿公苑

昭和38年冬、山間の温泉旅館の野天風呂へ入った一匹の子ザル。
翌年、東京オリンピック開催の年には、野生のニホンザルを観察できる施設として「地獄谷野猿公苑」がオープンしました。米国雑誌「LIFE」の表紙を“Snow Monkeys of Japan”として飾り、長野オリンピック以降は海外からの観光客が訪れる人気スポットとなっています。
サル専用の野天風呂が作られたのは昭和42年11月。あれから50年の星霜を経て、今の子ザルのまなざしは何を見つめているのでしょうか。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート 30年の経営見通し ② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (43) 寂蒔村 10

あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

概況 全産業

生産は4カ月ぶりの低下 前年同月比は16カ月連続の上昇

◇29年11月の長野県鉱工業指数

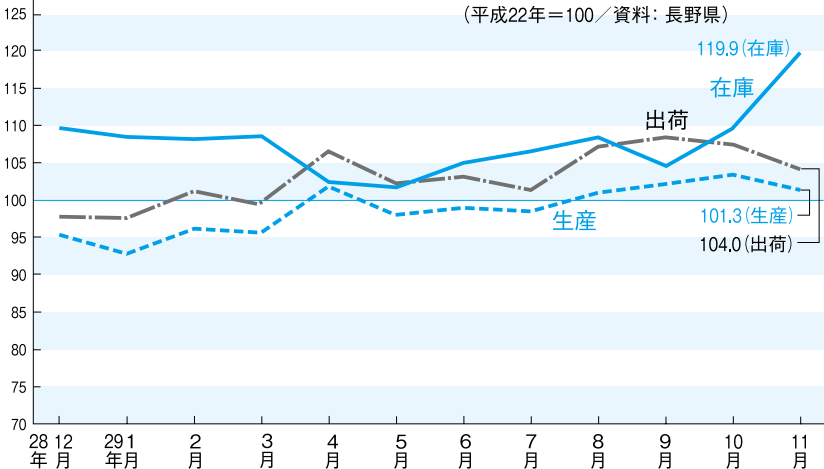
(速報：季節調整済指数)

生産は101.3(前月比▲2.0%)で4カ月ぶりの低下、出荷は104.0(同▲3.2%)で2カ月連続の低下、在庫は119.9(同+9.3%)で2カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は104.4(前年同月比+8.6%)で16カ月連続の上昇、出荷は105.0(同+6.0%)で16カ月連続の上昇、在庫は124.3(同+7.8%)で28カ月ぶりの上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(平成22年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…電子部品・デバイス、輸送機械、化学など9業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、木材・木製品など6業種

[出荷] 上昇…輸送機械、電子部品・デバイス、情報通信機械など8業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、木材・木製品など8業種

[在庫] 上昇…電気機械、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械など11業種

低下…プラスチック製品、鉄鋼、木材・木製品など4業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 平成29年11月

◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33

%)が1割減少、「減少」割合(25%)が3割減少、「不変」割合(43%)が4割増加し、全体としては増加の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比(2ポイント以上の動き)

↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
改善 不変 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	今回			改善	悪化
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	割合		
前 回	33.3	38.5	28.2						
今 回	32.7	42.5	24.8	増加	不変	減少			
製造業	37.9	46.9	15.2						
建設業	34.4	40.6	25.0						
卸小売業	24.4	46.7	28.9						
サービス業	42.9	42.8	14.3						
輸送業	30.0	10.0	60.0						
外食業	20.0	40.0	40.0						

217社(回収率85.8%)	30人未満 72.8%	30人以上 27.2%
202社(回収率79.8%)	30人未満 77.2%	30人以上 22.8%
66社(回収率74.2%)	30人未満 74.2%	30人以上 25.8%
64社(回収率87.7%)	30人未満 85.9%	30人以上 14.1%
45社(回収率78.9%)	30人未満 86.7%	30人以上 13.3%
7社(回収率70.0%)	30人未満 71.4%	30人以上 28.6%
10社(回収率90.9%)	30人未満 20.0%	30人以上 80.0%
10社(回収率83.3%)	30人未満 60.0%	30人以上 40.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」電気機械・自動車部品は増加したが、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38%)が11ポイント減少、「減少」割合(15%)が9ポイント減少、「不変」割合(47%)が20ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	49.3	26.8	23.9
	今回	増加 37.9	不変 46.9	減少 15.2
食 料 品	21.4	50.0	28.6	
金 属 加 工	50.0	28.6	21.4	
一 般 機 械	40.0	50.0	10.0	
電 気 機 械	40.0	60.0	0.0	
自 動 車 部 品	50.0	25.0	25.0	
精 密 機 械	20.0	60.0	20.0	

[業種別] 増加…電気機械・自動車部品
減少…食料品・金属加工・一般機械・精密機械

[機械稼働] (前回比) 稼働率 上昇

上昇割合 (27%) → 34%
下降割合 (14%) → 12%

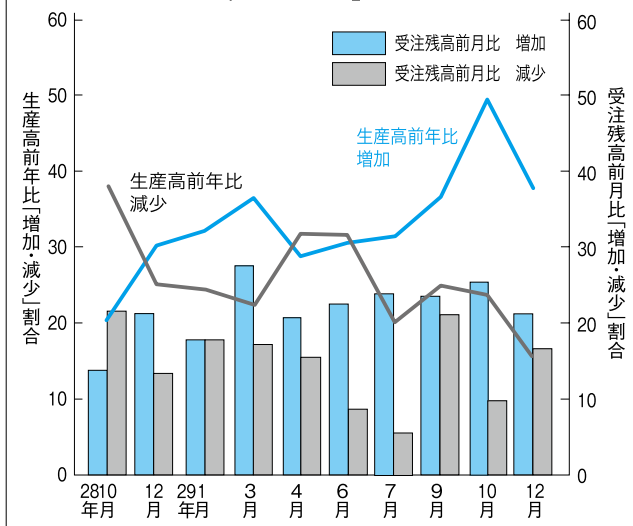
[受注状況] 受注量(前回比) 減少

増加割合 (25%) → 21%
減少割合 (10%) → 17%
受注残高(4.7ヵ月) → 1.9ヵ月

[受注基調] (前回比) 下降

上昇割合 (30%) → 37%
下降割合 (9%) → 20%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)

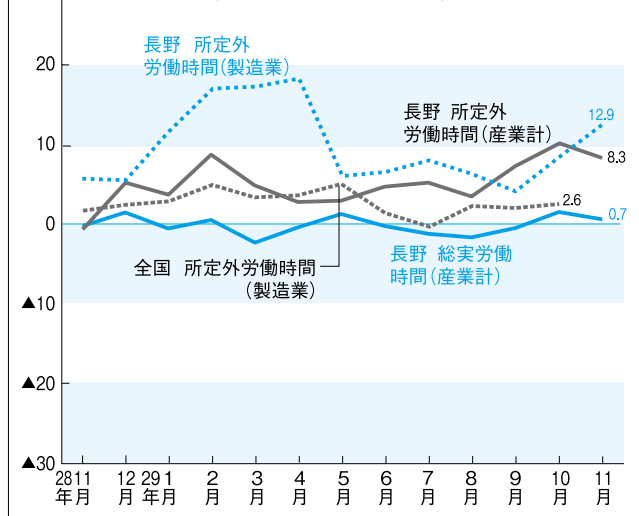


企業からのコメント

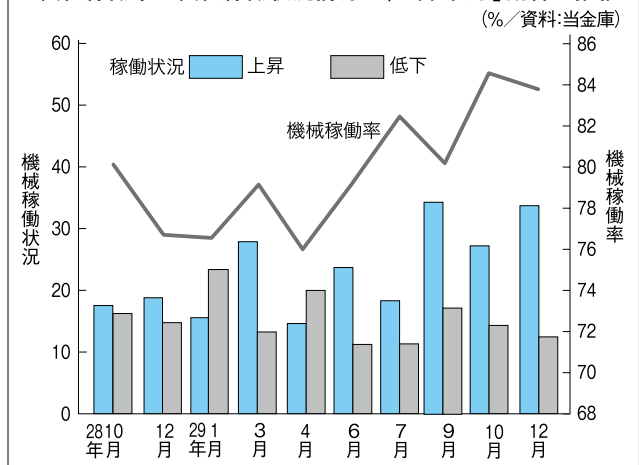
- ☆半導体装置メーカーの投資が継続しているので、今後2年間ぐらい増加が望めそう。(半導体関連)
- ☆各メーカーとも増産計画で受注が増加。(漬物)
- ☆★きのこのビン生産は4月から上昇の見込み。キートップは波があつて先が読めない。(ビン)
- ☆★きのこの減産傾向に歯止めがかからない限り厳しい状態が続く。(きのこ生産機器)
- ☆スチール家具は3月まで好調を維持しよう。(金属製品)
- ☆受注は増加傾向にある。(通信機器)
- ☆大手企業からの受注が増えてきた。(圧縮機)
- ☆前倒しの受注が続き、短縮納期の受注が増えている。(医療機器)
- ☆久しぶりに“年末商戦”を感じた。(IC機器)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」土木工事は増加したが、全体は横ばい

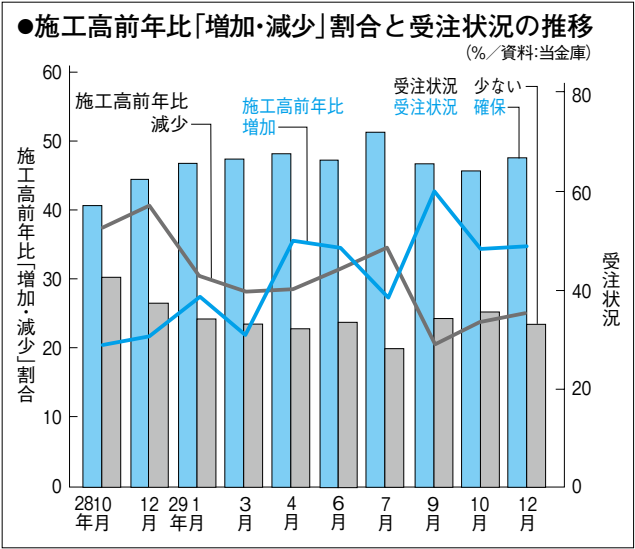
概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（34％）が横ばい、「減少」割合（25％）が1ポイント増加、「不変」割合（41％）が1ポイント減少し、全体としては横ばいの状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合（％）

建設業	前回	34.3	41.8	23.9
	今回	増加 34.4	不変 40.6	減少 25.0
総合建設業		27.3	63.6	9.1
土木工事業		36.4	36.3	27.3
建築業		30.4	30.5	39.1
各種設備業		40.0	50.0	10.0

業種別	増加…土木工事	横ばい…建築
	減少…総合建設・各種設備	
受注状況	受注残高(前回比)	改善
	「多い・適正」割合（64％）	→ 67％
	「少ない」割合（36％）	→ 33％



企業からのコメント

- ☆東信・中信からの引き合いが多く、別業者受注の物件で人手不足と工程遅れから応援要請がきた。
- ☆★引き合いはあっても、以前より“合見積”の物件が増えてきた。
- ★☆民間住宅の動きは少ないが、消費増税に向け土地売買の話が聞こえ始めている。（以上総合建設）
- ★関東・北陸エリアの物件も営業実施。（内装）

4～12月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の4～12月の発注合計は、1,641.9億円（前年同期比＋19.2％）となりました。前年比プラスは、「国」の247.1億円（同＋16.1％）、「県」の334.6億円（同＋1.1％）、「そのほか」の499.2億円（同＋97.5％）で、マイナスは「市町村」の558.6億円（▲3.6％）です。

北信地区市町村の発注合計は212.0億円（同＋8.1％）で、うち長野市は108.4億円（同▲11.2％）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（平成29年12月/29年4～12月累計）
(単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱)

		29年12月	前年同月比	29年4～12月	前年同期比
長野県	国	2,394	362.9%	24,712	16.1%
	県	2,549	▲17.5%	33,458	1.1%
	市町村	3,457	▲28.9%	55,864	▲3.6%
	そのほか	343	▲53.7%	49,921	97.5%
	合計	8,758	▲4.9%	164,193	19.2%
北信	市町村	630	▲66.1%	21,201	8.1%
	(内長野市)	487	▲26.4%	10,842	▲11.2%

4～12月の新設住宅着工戸数

長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は9,468戸（前年同月比▲1.8％）でした。持家が5,410戸（同▲3.3％）、貸家が2,768戸（同▲3.6％）、分譲が1,264戸（同＋8.1％）、給与が26戸（同＋85.7％）です。

北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,719戸（同▲10.1％）でした。持家が1,528戸（同▲8.1％）、貸家が852戸（同▲11.4％）、分譲が335戸（同▲16.3％）、給与が4戸（同＋300.0％）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数
(平成29年12月/29年4～12月累計) (資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	12月	161戸	105戸	28戸	0戸	294戸
	(内長野市)	96戸	92戸	11戸	0戸	199戸
	前年同月比	1.9%	▲8.7%	27.3%	—	▲0.3%
	(内長野市)	▲5.0%	9.5%	▲31.3%	—	▲1.0%
	4～12月	1,528戸	852戸	335戸	4戸	2,719戸
長野県	前年同期比	▲8.1%	▲11.4%	▲16.3%	300.0%	▲10.1%
	12月	591戸	241戸	125戸	2戸	959戸
	前年同月比	0.2%	▲24.7%	▲32.1%	0.0%	▲12.5%
	4～12月	5,410戸	2,768戸	1,264戸	26戸	9,468戸
	前年同期比	▲3.3%	▲3.6%	8.1%	85.7%	▲1.8%

卸小売業

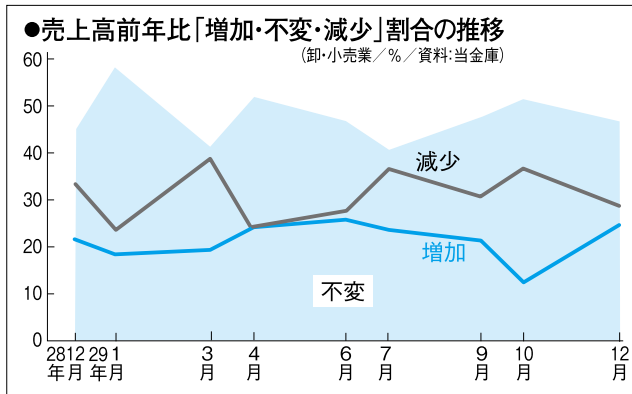
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(24%)が12ポイント増加、「減少」割合(29%)が8ポイント減少、「不変」割合(47%)が4ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	12.2	51.1	36.7
	今回	増加 24.4	不変 46.7	減少 28.9
卸 売 業		31.6	47.3	21.1
小 売 業		19.2	46.2	34.6



【業 種 別】 増加…卸売業・小売業

12月の消費者物価指数(長野市) 平成27年基準=100

◇総合指数(確報値)……101.2 (15カ月連続のプラス)

(前月比±0.0%、前年同月比+1.0%)

上昇…「被服及び履物」「家具・家事用品」

下落…「交通・通信」「食料」「光熱・水道」

◇生鮮食品を除く総合指数…100.7 (12カ月連続のプラス)

(前月比▲0.2%、前年同月比+0.9%)

企業からのコメント

- ★商品によっては全体に品薄状態。(きのこ用おが粉)
- ★野菜は台風21号などの被害や天候不順、果実はみかんの裏年や長雨で腐るなど、極端な品薄高値。仲卸・小売ともに苦戦を強いられている。(青果物卸)
- ★メーカーは在庫を多く持ちたがらない。必要な時に仕入れればよいという考え。(健康食品卸)
- ★買い控え傾向が目立つ。(スポーツ用品小売)
- ★ムダを省こうとするあまり、二度手間の追加発送が多かった。(軽包装材料卸・小売)
- ☆白物家電の販売が増加傾向にある。(家電小売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送は増加、サービスは減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は24ポイント減少の43%、「減少」割合は14ポイント増加の14%、「不変」割合は10ポイント増加の43%と、売上は減少しています。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は18ポイント増加の30%、「減少」割合は3ポイント減少の60%、「不変」割合は15ポイント減少の10%と、売上は増加の状況です。タクシーは増加、運送は減少の状況です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は12ポイント増加の20%、「減少」割合は2ポイント減少の40%、「不変」割合は10ポイント減少の40%と、売上は増加しています。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比11ポイントの増加、前年同月比は4ポイントの減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は23ポイント増加の50%、「引合いやや増加」は11ポイント減少の25%でした。

企業からのコメント

- ☆★忘年会で売上増加。乗務員不足は深刻。(タクシー)
- ☆★思ったほど年末の車両不足は深刻にならなかった。燃料コストの大幅上昇が当面の不安材料。
- ★運転手不足のため、稼働率が悪い。(以上運輸)
- ★個人客のキャンセル多く、直前の傾向も強まっている。インバウンドも含め、予約の動きが激しい。
- ☆年末年始の連泊が例年より多く、県内在住者の宿泊も昨年より多かった。(以上観光)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	66.7	33.3	0.0
	今回	増加 42.9	不変 42.8	減少 14.3
輸送業	前回	12.5	25.0	62.5
	今回	30.0	10.0	60.0
うちタクシー業		25.0	0.0	75.0
うち運送業		33.3	16.7	50.0
外食業	前回	8.3	50.0	41.7
	今回	20.0	40.0	40.0

北信地区の景気判断 ▲16 [良い]13% [悪い]29%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期はわからない」50%

アンケート
30年の経営見通し ②
29年12月調査

北信地区の景気判断 [良い]13%、[悪い]29%の景気判断D・Iは▲16で、昨年より24ポイント改善しています。

自社の業況が上向く転換点 「すでに上向いている」は13%となり、昨年より5ポイント改善。「業況改善の時期はわからない」は50%となり、昨年より12ポイント改善しています。

北信地区の景気判断

昨年より24ポイント改善 ▲40 → ▲16

「北信地区の景気は、良いと感じているか」を聞きました。

全産業では、「良い」(2%)と「やや良い」(11%)を合わせた[良い]は13%、「やや悪い」(23%)と「悪い」(6%)を合わせた[悪い]は29%、「どちらとも

いえない」は56%でした。[良い]から[悪い]を引いた北信地区景気判断D・Iは▲16となり、前年(▲40)より24ポイント改善しています。

従業員規模で見ると、30人未満の▲18([良い]13%・[悪い]31%)に対して、30人以上は▲13([良い]12%・[悪い]25%)となりました。

業種別

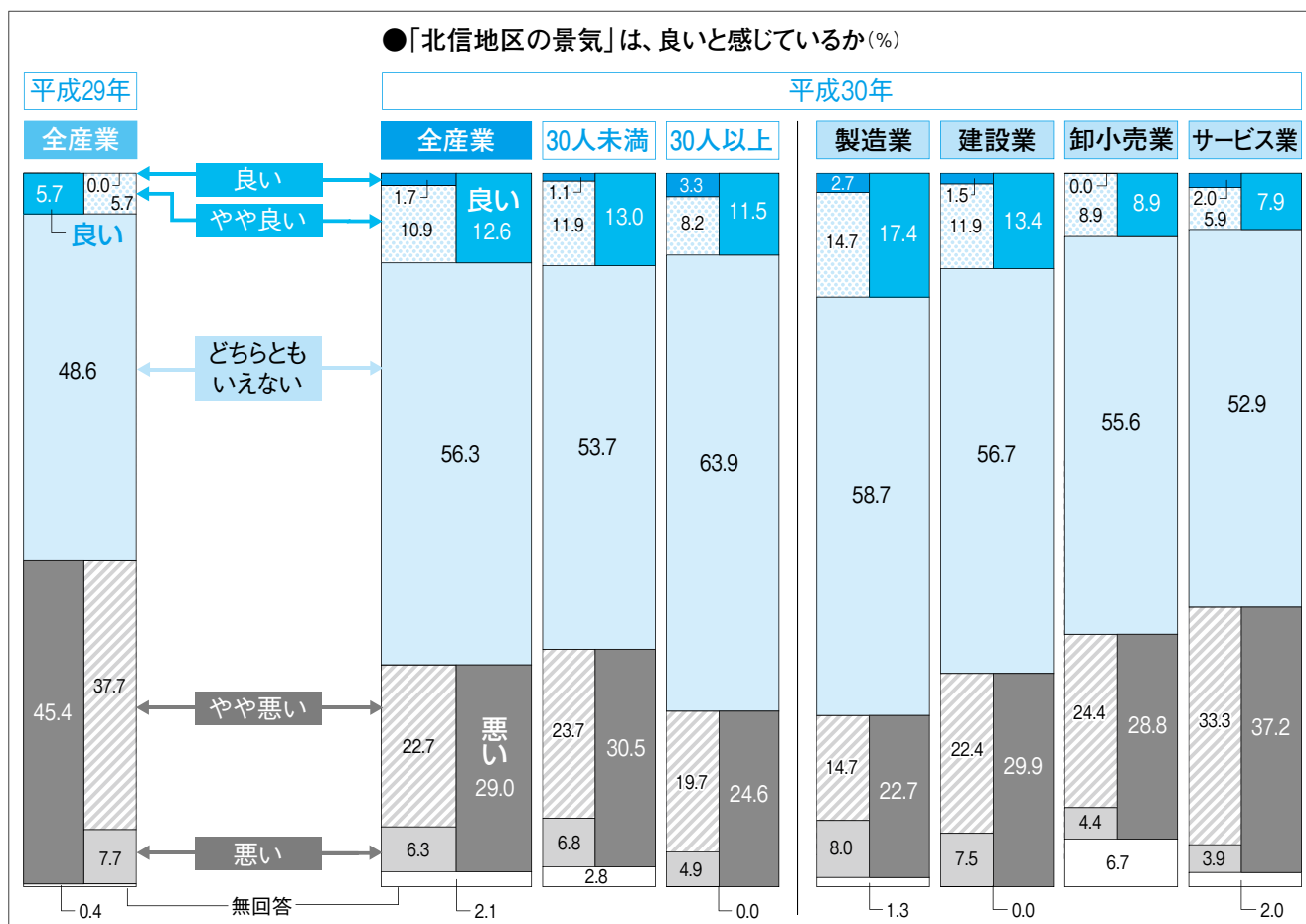
全産業より高いのは製造業のみ

◇4業種(全産業比)

製造業 [良い]17%、[悪い]23%の景気判断D・Iは▲5で、30人未満が▲4、30人以上が▲8です。

建設業 [良い]13%、[悪い]30%の景気判断D・Iは▲17で、30人未満が▲20、30人以上が±0です。

卸小売業 [良い]9%、[悪い]29%の景気判断D・Iは▲20で、30人未満が▲21、30人以上が▲14です。



サービス業 [良い] 8%、[悪い] 37%の景気判断D・Iは▲29で、30人未満が▲31、30人以上が▲26です。

業況が上向く転換点

「改善の時期はわからない」50%に

「自社の業況が上向く転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業では、「すでに上向いている」が13%、「6カ月以内」が14%、「1年後」が11%、「2年後～3年超」が8%となりました。「業況改善の時期はわからない」はちょうど50%で、昨年より12%改善しています。

従業員規模で見ると、「すでに上向いている」は30人未満10%に対して30人以上25%と15%多く、「わからない」は30人未満53%に対して30人以上43%の10%差となりました。ほかは大差ありません。

製造業 「すでに上向いている」(19%)と「6カ月以内」(16%)は、他業種に比べ最も高くなっています。従って「2年後～3年超」(3%)は、他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「6カ月以内」(12%)は、卸小売業に次いで低いのですが、「1年後」(15%)は、他業種に比べ最も高くなっています。

卸小売業 「すでに上向いている」(4%)、「6カ月以内」(11%)、「1年後」(4%)は、他業種に比べ最も低い代わりに、「わからない」(62%)は、他業種に比べ最も高くなっています。

サービス業 「2年後～3年超」(18%)は他業種に比べ最も高くなっています。「すでに上向いている」(14%)は製造業に次いで高く、「6カ月以内」(16%)も製造業と肩を並べている代わりに、「わからない」(37%)は、他業種に比べ最も低くなっています。

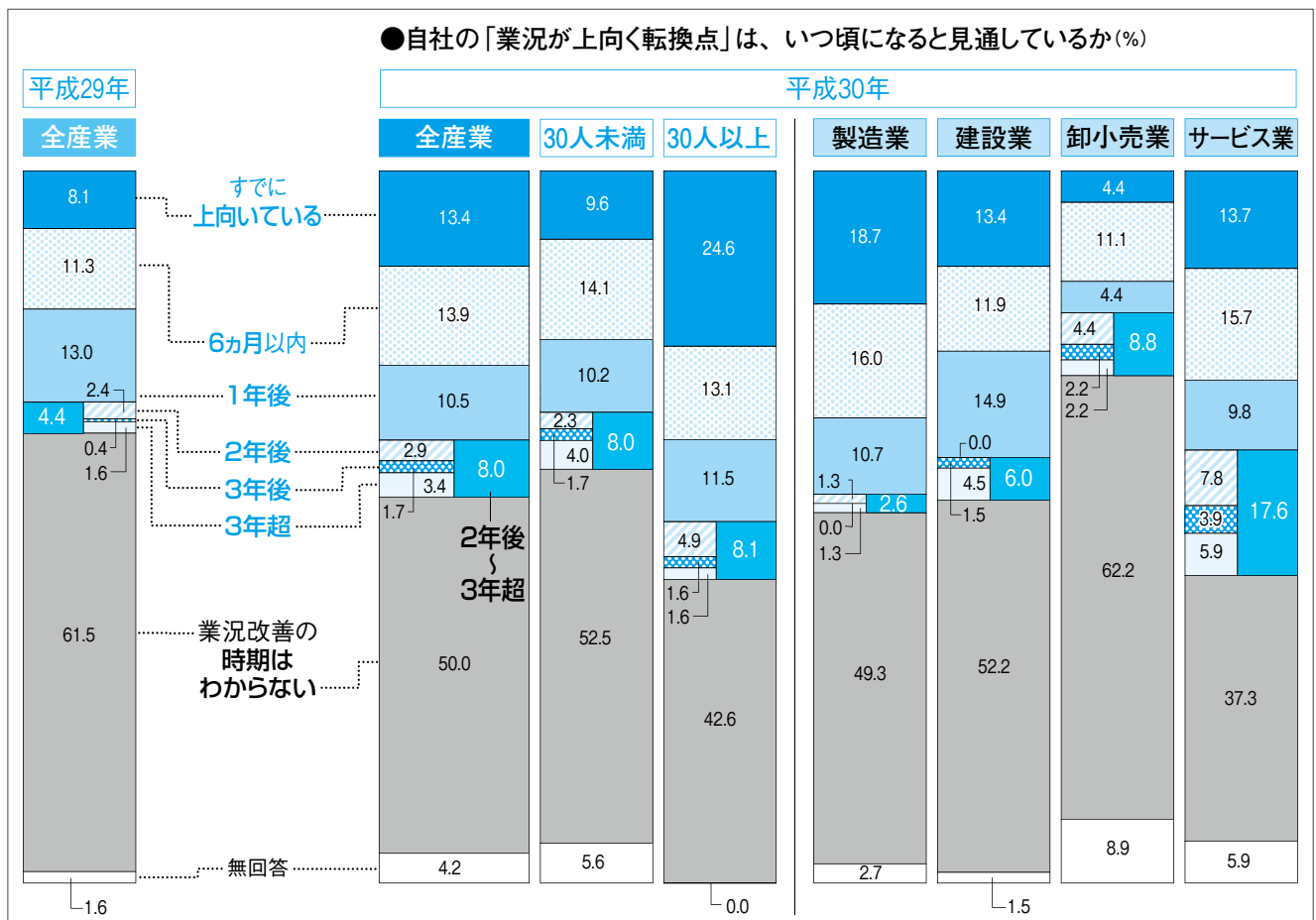
業種別

「すでに上向いている」 製造19%～卸小売4%

◇4業種(全産業比・前年比)

◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取り組みたい経営課題」を予定



**お客さまとスタッフが重なり合い
虹のグラデーションを描きたい**

株式会社 g r a

代表取締役社長 原山賢次さま

●創業の経緯からお聞きします…

長野駅前で両親が理容店を営んでおり（現在は兄が跡を継いでいる）、私も高校を卒業すると、実家から独立して理容師になると決め東京へと旅立ちました。東京で勤めた会社は理容・美容の両方を経営していました。私は途中で理容から美容に移りましたが、店長を理容で1年、美容で3年経験するなど計10年勤めて長野に戻り、西尾張部に美容室をオープンしました。

東京の会社は120人程のスタッフがいて、そのまま残る選択肢もあったのですが、この業界に入った当時から独立したい思いがありました。会社が三軒茶屋で居抜きの店を買取り、自分たちの手づくりでリニューアル、お客様の少ない日はスタッフと駅に行き、お声をかけお客様をお連れしたり…（笑）いろんな方法を試みながら半年後には一気にお客様も増え、集客を成功させるという貴重な経験もしました。お金をかけなくても工夫と自分自身の思いでお店がつくれる自信がつき、長野に帰ってきました。

●開業以来、大切にされていることは…

創業当時と今では集客方法もかなり違ってきていますが、たった一つ変わらないものは、私たちは「人を育てることを一番大事」にしている点です。ただ、「技術職だから」ではなく、「人として」というメンタル面を、私も含めてみんなで勉強しているわけです。「美容師として人として成長していく」というこの一点に集中しています。

また、店づくりの理念としては、「美容師が輝く舞台づくり」をテーマとして、そこでスタッフが輝いているかどうかを気にかけています。スタッフが輝き伸びている、そして、お客さんも増え

ているサロンがあれば、そういうサロンはどんなことをやっているのか、他県でも積極的に行ったり、お話を聞きに行っています。

●社名の“g r a”が意味することは…

“gra”は、グラデーションを省略した言葉です。“重なり”という意味です。長くいるスタッフが多い中で、お客さまとスタッフが重なり合って綺麗な虹のようなグラデーションを描きたいという思いが込められています。本店の石渡の“HAIR STORY”は、お客さまとスタッフが向き合って、長くお付き合いさせていただきたいという、社員全員の思いが込められています。2号店は、旧長野市のほぼ真ん中の高田地区に設け“NAVY”としました。

●お客さまはどのような層ですか…

30～50代までのファミリーが中心です。男性が35%、女性が65%で、男性の35%という数値は、業界では比較的高いほうです。お父さん、お母さんにお子さんのご家族連れでお見えになる方もいらっしゃいます。お子さんはお母さんといるのが一番いいと考え、キッズルームを設けずにスペースを広めにしています。小さい頃からお客さまになっていただければ、それはありがたいことですね。

お客さまとの会話に関して、三軒茶屋のとき、60歳くらいの初めてのお客さまに、なぜか「今日は雑誌を読みたいですか、私とお話しませんか？」と聞いてみたのです。そうすると「今日はあなたとお話しようかな」って言っていただき、そのことがきっかけでお客さまと話すのがすごく楽しくなったことを覚えています。不思議なのは、そこから「今度こんなヘアスタイルどうですか？その感じでしたら、このほうがいいのかもかもしれませんね」というふうに発展し、会話はとっても大切なことだと実感しました。ですから、新人スタッフには「とにかくお客様とたくさん会話しなさい」と教育しています。

●従業員のモチベーション維持やスキルアップは…

社員教育で大切なのは、トップが常に高いモチベーションを持っていることは当然ですが、技術

面では、若い人たちの方がどんどん成長します。自分が出来ないのにやりなさいとなりがちですが、まず自分を変えることではないでしょうか。考え方を変えるためには、時間もお金もかかります。本を読むことも大切とは思いますが、何よりも経験が大切だと思います。ここでは、私がトップの社長をやらせてもらっていますが、外の会合に出ると、自ら一兵卒を求め、先輩たちの言う通りにやっていると、スタッフはこのように思っているのだらうということがわかり、自分を変えることで、スタッフのモチベーションとか、社員教育につながるのではないかな。そんな気がしています。あとは、自分が勉強してきたことを時代性に合わせて上手く伝えることでしょうか。

●店長にお店を任せますか…

任せています。とにかく昼間は新店舗“NAVY”に行かないことを心に決めています。

彼らに最近話すのは、自分が独立して半年間は全く一人だった経験談です。ナンバー2の彼は、半年後に初めて入店したスタッフですが、当時は徒弟制度が強く、今からすればとんでもない待遇だったかもしれません。彼が結婚するときに彼の将来を考えた時、これは“自分がやりたいことではない”という自責の念に駆られました。そこから法人化しようと決断しました…。

会社にしたときは3人で、何があるか分からないで始めましたが、先輩経営者には「何かをやってみれば分かるよ」と言われ、やり始めると、福利厚生や研修面の課題に取り組まざるを得なくな

り、諸々経験し堂々と対処できるようになってきました。

●最後に今後の展望などをお聞かせください…

当社には長くいるスタッフも多く、一体感のあるとても素敵な仲間が揃いました。今回の2号店も彼らと長く一緒に仕事をしていきたい思いの中で出店しました。そして4月には4名の新社員入社も決まっています。

理念やビジョンを共有し、一緒に働くスタッフが美容師として人として成長してくると、自然とお店が生まれるチャンスになると思います。またそういう会社にしていきたいです。美容師としての価値を高める、その一点に集中することによって、スタッフも増え、たくさんのお客さまにも来ていただけたらと思っています。

会社の経営理念が大切と言われますが、当社ぐらゐの規模ですと「ビジョン」はもっと大切かもしれません。5年後にはこうしよう、10年後にはこうなっていようと。今、2店舗目を出したばかりですが、こうして成長して、これくらいの売上で社員がこれくらいの数になったら、今度はこうしよう！というふうには言い切っています。社員のために自分自身が誰よりも学び、すべてのことにおいて積極的に行動していきたいと考えています。

お客さまは“大切な親友”スタッフは“第二の家族”というスタンスでお客さまが“常に笑顔でいられる”そんな店づくりをしていきたいと考えています。



これからも一緒に働いて行きたいスタッフたちと

●事業の概要

設立 2010(平成22)年
資本金 300万
代表 原山 賢次
従業員 8名(男4・女4)
業務 美容室
事業所 長野市石渡63-4
URL <http://www.gra-hair.com/>

●沿革

1999(平成11)年 長野市西尾張部にてSham-poo HAIRsをオープン(石渡店のオープンを機に閉店)
2010(平成22)年 株式会社graを設立(法人化)
2012(平成24)年 長野市石渡にてgra HAIR STORYをオープン
2017(平成29)年 長野市南高田に2号店NAVYgra HAIR STORYをオープン

北信濃 江戸時代の風景

(43) 寂蔀村^{じゃくまく}

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



寂蔀村とは

現在の千曲市寂蔀です。国道18号沿いであって、^{いもじや}鋳物師屋などとともに難読な地名として知られています。「寂蔀」(^{じゃくまく}ひっそりとしてものさびしいこと)という語が地名の由来だと思われていますが、詳しいことは分かりません。北国街道の屋代宿・戸倉宿の中間にある^{あい}間の宿で、大名の重臣などが休憩する茶屋本陣などもありました。

北に続く鋳物師屋・打沢・新田・桜堂・小島・杭瀬下とともに幕府領(天領)の村で、明治以降は東船山村、埴生村、埴生町、更埴市を経て、現在は千曲市の一部となっています。

絵を読む

長谷川雪旦(1778~1843)が『北国一覽写』に描いた寂蔀村の風景です。鏡台山の山麓に川(用水)が流れ、それに沿って街道があります。これが北国街道で、客を乗せた馬を引く馬子や、侍らしい2人連れなどが描かれています。手前が屋代宿側です。街道に沿って家々が建ち並び、手前の家は店になっています。現在の国道18号はこの家々の右側(西側)を通っています。

家々の背後の山並には「姥捨山」(嬭捨山)の文字があり、その下には嬭捨の長楽寺らしい寺と大岩が描かれています。その下を流れる「更科川」(更



寂蔀村の図(『北国一覽写』より)

級川)は姨捨十三景の1つに数えられる千曲川の支流ですが、ここでは実際には千曲川のここのようです。

左の鏡台山は中腹まで「畑」が作られ、下には「桑畑」が描かれています。養蚕が盛んであったことが分かります。「桑畑」の向こうにある「金ヒラ」は、現在も東山公園の奥にある琴平神社(金刀比羅神社)です。

絵の上の文字

絵の右上に「埴科郡 寂萌村」と書いてあります。「萌」はもちろん「蒔」の誤りです。「寂」の右には「菽」という文字もあって、どんな字を書いたらよいか迷っているようです。読みも左側に「ジャクマキ」とあるように「じゃくまき」と誤って読んでいますが、現在でもそのように間違った読み方をする人がいるのは面白いことです。

次の行に、「中ニ隔テ更科郡、前方埴科郡」と書いてあります。絵の中段から上は更級郡、前方(下)は埴科郡だということです。両郡の境は千曲川です。

次に「此村家こと真田打紐帯、むらさきの実を以染、至而うつくしき木綿いと打もの也、真田紐の根元」と書いてあります。「この村は家ごとに真田打・真田紐・真田帯(を作って売っている)。紫の実で染めたいそう美しい木綿糸の組紐である。真田紐の元祖」といった意味です。下段に描かれた家は、そうした真田紐の類を売る店なのでしょう。

絵の中央の上には「木綿 真田打 紐 帯地」と書いてあって、その紐が3本描かれています。立派な工芸品です。

真田と真田紐

真田紐は真田^{うち}打^きともいい、九度山(和歌山県九度山町)に蟄居していた真田昌幸と幸村が作って生活費に充てた、家臣に売り歩かせて諸国の情報を集めた等の俗説で知られています。また、昌幸が刀



千曲市寂蒔の琴平神社(金刀比羅神社)

の柄を巻く紐として用いたからだともいいます。

その一方で、「さのはた」(狭織)が「真田」に変化したとの説があります。また近年は、ネパールなどのサナール紐が語源だとの説も行われています。

真田紐で知られた寂蒔

真田紐の産地は、真田氏ゆかりの上田でも真田でもなく、寂蒔でした。江戸時代の終わりに書かれた『科野佐々礼石』という本の「信濃国古今名産之品物」の部には「真田打紐」という項があって、「埴科郡寂蒔村」と書かれています。他の地名はありませんから、信濃における真田紐の名産地は寂蒔村とされていたことが分かります。

寂蒔村は明治9年(1876)に鋳物師屋村・打沢村・桜堂村・小島村と合併して東船山村となりました。明治15年(1882)に東船山村が県に提出した村誌によれば、東船山村は年間に真田帯(真田紐の帯)を7370反、打紐を8350反生産しています。これらのほとんどが寂蒔の産だと思われます。

桑畑が描かれているように、寂蒔村では養蚕が行われ、生糸が生産されました。その一方で木綿を栽培し、綿糸から真田紐を製造していたのです。真田紐は軽くて土産に最適なことから、北国街道を行き来する旅人たちが好んで購入したのでしょう。

3月号は「坂木」の予定です。



申告の際にはマイナンバーの記載+本人確認書類の提示または写しの添付が必要です

税務署からのお知らせ

申告と納税

所得税および復興特別所得税、贈与税

平成30年**3月15日(木)**まで

所得税および復興特別所得税の確定申告の窓口での相談・申告書の受付は、**平成30年2月16日(金)**からです。

消費税および地方消費税
(個人事業者)

平成30年**4月2日(月)**まで

確定申告書の作成に当たっては、「復興特別所得税額」の記載漏れのないようにご注意ください。



確定申告書の提出はお早めに!

振替納付日 所得税および復興特別所得税：平成30年4月20日(金) 消費税および地方消費税(個人事業者)：平成30年4月25日(水)

◆作成コーナーの操作方法などに関するお問合せは

▶e-Tax・作成コーナーヘルプデスク

0570-01-5901 (全国一律市内通話料金)

◆申告書の作成などにあたってのご不明点に関するお問合せは

▶長野税務署 **026-234-0111**

www.keisan.nta.go.jp

作成コーナー



◆長野税務署の申告会場

申告会場／**長野市若里市民文化ホール**
(ビッグハット隣)

開設期間／平成30年**2月16日(金)～3月15日(木)**

受付時間／午前**9時～午後4時**

(会場の混雑状況により、早めに締め切ることがあります)

※申告会場は大変混雑するため、長時間お待ちいただく場合があります。

※2月18日(日)、2月25日(日)以外の土・日は開設していません。

※上記期間中は、長野税務署庁舎での申告相談は行っておりません。

●みなさまの経営相談のご案内 [3月]

(注) 上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午 前	午 後	開催日		午 前	午 後
3月 2日	金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	3月 19日	月	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
6日	火	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	22日	木	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
7日	水	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	26日	月	大門町支店 (桜枝町支店)	
12日	月	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日	火	本店営業部	善光寺下支店 (権堂支店)
13日	火	大豆島支店 (長池支店)		28日	水	本 部	
16日	金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	29日	木	本 部	

●3月の「しんきん事業相談会」は3月7日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●

